



GO!

<https://www.jfaiu.gr.jp>

2026.05.07

No.27-71

EXPRESS

# 航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：坂元 慎平 〒144-0041東京都大田区羽田空港1-6-5 第5綜合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163

## 原油高騰の深刻化をめぐる国会で論戦！

### ～フォーラム平戸議員が国交大臣・航空局長に迫る！～

4月23日（木）、参議院国土交通委員会において、航空連合政策議員フォーラムメンバーの平戸 航太（ひらど こうた）参議院議員が、中東情勢の悪化に伴う原油価格の急騰および航空機燃料税に関して、航空連合の主張に基づく質疑をおこないました。引き続き、政策議員フォーラム所属議員と強力に連携し、政府に政策的対応を求めていきます。



平戸 航太  
参議院議員

- 国内航空ネットワークの維持に関わる課題について、「国内航空のあり方に関する有識者会議」において、**従来にない踏み込んだ施策が議論**されているが、これらは**いつ、どの程度寄与**すると見込んでいるのか。
- 航空燃料はガソリン以上に高騰しており、現行の激変緩和措置だけでは細所が不足している。**追加支援策が必要**と考えるが見解は。
- 航空機燃料税は、**負担のバランスや税そのものの必要性を改めて検証すべき**。廃止した場合の代替財源として、**国際観光旅客税を活用**できるのではないか。



宮澤  
航空局長

●有識者会議では、ダイヤ調整等の航空会社間の協調の取り組みや中堅会社への出資に関する規制のあり方等について議論している。**本年5月頃に取りまとめをおこなう予定**であり、**その後、各社で速やかに取り組みが進められることを期待**している。

●**国際観光旅客税は基本方針で用途が定められており、航空機燃料税を代替することは難しいが、財源の性質に応じて適切に取り組んでいく。**

●航空各社は国内線燃油サーチャージの導入や運賃値上げを検討せざるを得ない状況にあり、**現行措置の拡充を要望している**と承知している。国交省として、**燃料価格の動向や航空ネットワークへの影響を注視しつつ、政府全体で適切に検討**していく。

●航空機燃料税は、空港整備・維持、防災対策、コロナ期の借入金返済など、航空インフラを支える重要財源である。**航空会社の厳しい経営状況は認識**しており、**関係者の声を聞きながら、制度のあり方について議論**を進めていく。



金子  
国土交通大臣



## 航空連合ビジョン

いつの時代も社会から必要とされ、働く仲間がやりがいを感じ、誇りをもって働ける産業